

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2012年6月13日、7月19日、8月10日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数(6月)	(7月)	(8月)
カイツブリ	カイツブリ	11	9	14
ウ	カワウ	70	102	107
サギ	ヨシゴイ	0	1	0
	ダイサギ	1	2	8
	コサギ	0	5	6
	アオサギ	4	3	5
カモ	コブハクチョウ	39	37	33
	カルガモ	7	17	32
タカ	ミサゴ	1	0	0
クイナ	オオバン	5	6	7
シギ	イソシギ	0	0	1
カモメ	アジサシ	2	0	0
	コアジサシ	2	0	1
カワセミ	カワセミ	2	2	1
ツバメ	ツバメ	14	1	9
	ハシボソガラス	1	4	3
カラス	ハシブトガラス	0	1	0
	ドバト	0	6	0
家禽や外来種	バリケン	2	2	0
	アヒル	0	3	1
合計	20種	161	201	228

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2012年6月15日、7月20日、8月21日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数(6月)	(7月)	(8月)
タカ	トビ	0	1	0
キジ	キジ	7	0	0
	コジュケイ	1	0	0
ハト	キジバト	3	5	3
キツツキ	コゲラ	5	4	2
ツバメ	ツバメ	2	7	2
セキレイ	ハクセキレイ	0	1	1
	セグロセキレイ	1	0	0
ヒヨドリ	ヒヨドリ	29	52	16
ウグイス	ウグイス	8	3	1
	オオヨシキリ	3	0	0
エナガ	エナガ	0	0	9
シジュウカラ	シジュウカラ	11	3	2
メジロ	メジロ	11	1	2
ホオジロ	ホオジロ	4	6	2
アトリ	カワラヒワ	5	6	0
ハタオリドリ	スズメ	13	23	19
ムクドリ	ムクドリ	0	28	0
カラス	ハシボソガラス	7	12	1
	ハシブトガラス	6	5	8
合計	20種	116	157	68

博物館友の会

鳥探しゲーム「手賀沼の鳥探し隊」参加者を募集!

鳥の博物館友の会では、手賀沼周辺にいる鳥をコース別にウォーキングしながら探し、その観察種数を競うイベントを企画しています。友の会のベテラン会員と一緒に我孫子の自然に触れるゲームにぜひ参加しませんか?優勝グループにはプレゼントがあります。

日時:11月18日(日)午前9時集合(各コース正午頃に鳥の博物館解散)

集合場所:Aコース我孫子駅南口アピシルベ前/Bコース東我孫子駅改札前/Cコース北柏駅南口階段下

定員:各コース先着15名(参加無料・小学生以下は要保護者同伴)

持参するもの:防寒具、雨具、筆記用具、双眼鏡(あれば)

申込み:電話申込み(鳥の博物館 04-7185-2212) \*11月1日午前10時より申込み受付開始

第9回友の会展を  
12/1(土)~1/27(日)  
に開催します!

利用案内

●開館時間 午前9時30分~午後4時30分

●休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)

●入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	免除	免除

\*70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)は入館料が免除されます

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3

☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639

ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

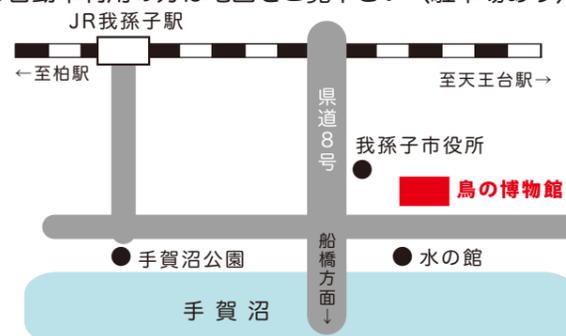
●電車とバス利用

JR我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分

\*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車  
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車

●自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)



# あびこ鳥だより

Autumn  
2012  
【秋号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.31

## <目次>

特集ページ・・・・・・・・・・ 2

- ・日本の鳥の分類が変わる!?
- ー日本鳥類目録第6版 vs. 第7版、大分類を比べてみるとー

最新情報・・・・・・・・・・ 3

- ・特別展「日本のレッドデータバース」を開催します!
- ・JBF 鳥学講座のご案内

イベント情報・・・・・・・・・・ 3

我孫子市鳥類調査結果・・ 4

友の会からのお知らせ・・ 4

- ・鳥探しゲーム「手賀沼の鳥さがし隊」の参加者を募集します



表紙の鳥 ツグミ

### 日本の鳥の分類が変わる!?

—日本鳥類目録第6版 vs. 第7版、大分類を比べてみると—

今年の9月、日本鳥類目録が12年ぶりに改訂され、第7版として刊行されました。

日本産鳥類目録というのは、日本で記録された鳥全種をリストアップし、分類学上の位置づけを決め、順番に並べたもので、鳥に関心を持つ多くの方が何らかの形で利用しているはず。例えば、書店に並ぶ日本の鳥の図鑑の多くは、この目録の順番を採用していますし、バードウォッチャーの観察記録も、だいたいこの順番に沿って整理しているはず。

目録が改訂された理由は、この12年の間に日本国内で新たに確認された種を加えるためと、近年、急速に発達したDNAの塩基配列を用いた分子系統学の成果を取り入れるためです。

種をリストアップしたり標本を並べたりする実務的な面を考えると、目録の分類が日々変化しては不便ですし、情報交換する時にも種名が安定していなければ混乱を招きます。

しかし、生物分類は、進化の歴史に沿った自然分類を目指し、そのためには縁縁関係に関する新発見を反映しつづけるべきではないでしょうか。

生物分類の原則に沿って作成される鳥類目録も、新たな発見を取り入れ、より正確な進化史を反映させたものに描き直されていくのが宿命です。

今回の改訂版では、これまでの分類体系が大幅に見直されています。どんな変更がなされたのか、第6版と第7版の大分類を比べた印象を吹き出し風にメモしたのでご覧ください。

(興味のある方は、次の資料が参考になります)

- ・西海功.2011.日本の鳥の分類が変わる?. BIRDER 25:38-39
- ・Hackett,S.J.et al. 2008.A Phylogenomic Study of Birds Reveals Their Evolutionary History. Science.320.
- ・長谷川政実.2011.新図説動物の起源と進化—書きかえられた系統樹—.169-185.八坂書房.東京
- ・日本鳥学会.2012.日本鳥類目録改訂第7版.日本鳥学会.兵庫

第6版 (2000)		第7版 (2012)	
目	科	目	科
1 アビ	1 アビ	1 キジ	1 キジ
2 カイツブリ	2 カイツブリ	2 カモ	2 カモ
3 ミズナギドリ	3 アホウドリ	3 カイツブリ	3 カイツブリ
	4 ミズナギドリ	4 ネットアイチョウ	4 ネットアイチョウ
	5 ウミツバメ	5 サケイ	5 サケイ
	6 ネットアイチョウ	6 ハト	6 ハト
4 ペリカン	7 ペリカン	7 アビ	7 アビ
	8 カツオドリ	8 アホウドリ	8 アホウドリ
	9 ウ	9 ミズナギドリ	9 ミズナギドリ
	10 グンカンドリ	10 ウミツバメ	10 ウミツバメ
5 コウノトリ	11 サギ	9 コウノトリ	11 コウノトリ
	12 コウノトリ	12 グンカンドリ	12 グンカンドリ
	13 トキ	10 カツオドリ	13 カツオドリ
6 カモ	14 カモ	14 ウ	14 ウ
7 タカ	15 タカ	15 ペリカン	15 ペリカン
	16 ハヤブサ	16 サギ	16 サギ
8 キジ	17 ライチョウ	17 トキ	17 トキ
	18 キジ	18 ツル	18 ツル
	19 ミフウズラ	19 クイナ	19 クイナ
9 ツル	20 ツル	13 ノガン	20 ノガン
	21 クイナ	14 カッコウ	21 カッコウ
	22 ノガン	15 ヨタカ	22 ヨタカ
	23 レンカク	16 アマツバメ	23 アマツバメ
	24 タマシギ	24 チドリ	24 チドリ
	25 ミヤコドリ	25 ミヤコドリ	25 ミヤコドリ
	26 チドリ	26 セイタカシギ	26 セイタカシギ
10 チドリ	27 シギ	27 シギ	27 シギ
	28 セイタカシギ	28 レンカク	28 レンカク
	29 ヒシアシシギ	29 タマシギ	29 タマシギ
	30 ツバメチドリ	30 ミフウズラ	30 ミフウズラ
	31 トウゾクカモメ	31 ツバメチドリ	31 ツバメチドリ
	32 カモメ	32 カモメ	32 カモメ
	33 ウミスズメ	33 トウゾクカモメ	33 トウゾクカモメ
	34 サケイ	34 ウミスズメ	34 ウミスズメ
11 ハト	35 ハト	18 タカ	35 ミサゴ
	36 カッコウ	19 フクロウ	36 タカ
12 カッコウ	37 フクロウ	19 フクロウ	37 メンフクロウ
13 フクロウ	38 ヨタカ	20 サイチョウ	38 フクロウ
14 ヨタカ	39 アマツバメ	21 ブッポウソウ	39 ヤツガシラ
15 アマツバメ	40 カワセミ	22 キツツキ	40 カワセミ
	41 ハチクイ	23 ハヤブサ	41 ハチクイ
16 ブッポウソウ	42 ブッポウソウ	23 ハヤブサ	42 ブッポウソウ
	43 ヤツガシラ	43 キツツキ	43 キツツキ
	44 キツツキ	44 ハヤブサ	44 ハヤブサ
17 キツツキ	45 ヤイロチョウ	45 ヤイロチョウ	45 ヤイロチョウ
	46 ヒバリ	46 モリツバメ	46 モリツバメ
	47 ツバメ	47 サンショウクイ	47 サンショウクイ
	48 セキレイ	48 コウライウグイス	48 コウライウグイス
	49 サンショウクイ	49 オウチュウ	49 オウチュウ
	50 ヒヨドリ	50 カササギヒタキ	50 カササギヒタキ
	51 モズ	51 モズ	51 モズ
	52 レンジャク	52 カラス	52 カラス
	53 カワガラス	53 キクイタダキ	53 キクイタダキ
	54 ミソサザイ	54 ツリスガラ	54 ツリスガラ
	55 イフヒバリ	55 シジュウカラ	55 シジュウカラ
	56 ツグミ	56 ヒゲガラ	56 ヒゲガラ
	57 チメドリ	57 ヒバリ	57 ヒバリ
	58 ウグイス	58 ツバメ	58 ツバメ
	59 ヒタキ	59 ヒヨドリ	59 ヒヨドリ
18 スズメ	60 カササギヒタキ	60 ウグイス	60 ウグイス
	61 エナガ	61 エナガ	61 エナガ
	62 ツリスガラ	62 ムシクイ	62 ムシクイ
	63 シジュウカラ	63 ズグロムシクイ	63 ズグロムシクイ
	64 ゴジュウカラ	64 メジロ	64 メジロ
	65 キバシリ	65 センニュウ	65 センニュウ
	66 メジロ	66 ヨシキリ	66 ヨシキリ
	67 ミツスイ	67 セッカ	67 セッカ
	68 ホオジロ	68 レンジャク	68 レンジャク
	69 アトリ	69 ゴジュウカラ	69 ゴジュウカラ
	70 ハタオリドリ	70 キバシリ	70 キバシリ
	71 ムクドリ	71 ミソサザイ	71 ミソサザイ
	72 コウライウグイス	72 ムクドリ	72 ムクドリ
	73 モリツバメ	73 カワガラス	73 カワガラス
	74 カラス	74 ヒタキ	74 ヒタキ
		75 イフヒバリ	75 イフヒバリ
		76 スズメ	76 スズメ
		77 セキレイ	77 セキレイ
		78 アトリ	78 アトリ
		79 ツメナガホオジロ	79 ツメナガホオジロ
		80 アメリカムシクイ	80 アメリカムシクイ
		81 ホオジロ	81 ホオジロ

素朴なツイート編

いきなり! キジ目からスタート!?

サケイはハト目から独立したんだ!?

カツオドリ目って初耳!

ミフウズラはツル目だったよネ!?

サイチョウ目ってエキゾチックなネーミング!

ミサゴって特別なタカだったんだ!

ハヤブサは本当はタカじゃなかったんだ!

ついにカラスが定位置を空け渡したか!

ムシクイ科、ズグロムシクイ科、センニュウ科、ヨシキリ科、セッカ科ってむかしは全部ウグイス科だったのでは?

大取りは、カラス科に替わって、なんとホオジロ科!!

18目74科230属542種

6目7科30属91種増

24目81科260属633種

### 特別展「日本のレッドデータバース」をJBF期間中に開催します!

ジャパンバードフェスティバル(Japan Bird Festival/略称:JBF)は、我孫子市手賀沼周辺にて行われる、鳥をテーマにした日本最大級のイベントです。行政・NPO・学生・市民団体などによる鳥・自然環境に関する研究・活動の発表、鳥の彫刻・絵画・写真展や、工作教室、船上バードウォッチングやスタンプラリーなど、お子様からご年配の方までお楽しみいただけます。

鳥の博物館ではJBF期間中に特別企画「日本のレッドデータバース-絶滅が危惧される鳥たち-」を開催します。今年8月、環境省は絶滅の危惧に瀕した生物の現況を見直し、第4次レッドデータリストを発表しました。これを機にレッドデータリストに記載された鳥類にスポットを当て、標本とともに紹介します。

ぜひ、特別企画に足を運んでいただき、減少している日本の鳥たちについて知っていただきたいと思います。

またJBF期間中、館内では展示に関するクイズラリーやJBF参加団体によるゲストトークなどを企画しています。屋外にはミュージアムショップのテントブースを出展する予定です。ぜひご来館ください。



特別展「日本のレッドデータバース」開催期間：10/6(土)～11/25(日)

JBF開催期間：11/3日(土) 9:30～16:00 11/4(日) 9:30～15:00

### JBF 鳥学講座「溜池の鳥と魚の密接な関係」のご案内

JBF期間中に開催される鳥学講座は、(公財)山階鳥類研究所と鳥の博物館が年に1回開催する講演会で、鳥類研究の第一線で活躍する研究者の方に、分かりやすく研究内容についてお話していただくものです。

今年は佐原雄二さん(弘前大学農学生命科学部教授)を講師に招き、ヨシゴイやカンムリカイツブリなど溜池で繁殖・採餌する魚食性鳥類とモツゴなどの魚との関係を、青森県での研究例から紹介いただきます。食べる者と食べられる者の体のつくりや行動は、互いにどのように関連しているのでしょうか。水辺を舞台としたエコロジー(生態学)の一端を話していただきます。

\*日時等の詳細は下のイベント情報をご覧ください



ヨシ原の中のヨシゴイ

### イベント情報

#### ●自然観察会

##### ○てがたん～手賀沼定例探鳥会～

時間：10:00～12:00

集合場所：博物館玄関(予約不要)

10月13日(土) 「色々な植物たちの種子散布」

11月10日(土) 「鳥の渡りとモズの高鳴き」

12月8日(土) 「色々な木の葉の形と種類」

#### ●室内イベント

##### ○巣箱教室

日時：12月15日(土) 13:30～15:00

場所：博物館多目的ホール

定員：先着20名(要電話予約、費用800円)

申込み：我孫子市鳥の博物館 04-7185-2212

\*12月1日より申込み受付開始

#### ●講演・座談会

2012年10月～12月

##### ○鳥学講座

日時：11月3日 13:30～15:00

場所：アビスタ(我孫子市生涯学習センター)

定員：先着120名(参加無料)

テーマ：「溜池の鳥と魚の密接な関係」

講師：佐原雄二さん(弘前大学農学生命科学部教授)

##### ○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13:15～14:00

場所：博物館多目的ホール

定員：先着50名(参加無料)

講師：山階鳥類研究所所属

\*館内イベントは参加無料でも入館料が必要です

\*自然観察会は高校生以上の方は保険料100円が必要です